

# 徳山の歴史探訪MAP 見玉源太郎 & 徳山藩 GUIDE

江戸時代から明治時代へ  
大きな歴史のうねりを感じる旅



みつけて  
周南

徳山をもっと  
満喫!!

## 周南市観光 ボランティアガイド

### 観光コース 徳山城下町を訪ねて

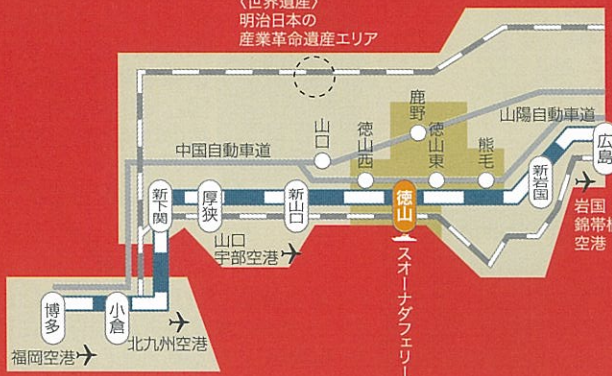
市街地の見玉公園から緑と文化のpromナード(桜並木)、徳山動物園、文化会館、美術博物館、岐山通り周辺の史跡と文化を堪能していただけます。



### みどころ 見玉源太郎生誕の地 祐綏神社・毛利家墓所など

周南市観光ボランティアガイドは、周南市を訪れた方々の楽しい旅のお手伝いをします。料金は無料ですが、交通費等が必要な場合は実費となります。詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください。

〈世界遺産〉  
明治日本の  
産業革命遺産エリア



新幹線のぞみ利用

- 博多から徳山まで約44分
- 新大阪から徳山まで約1時間43分
- 広島から徳山まで約22分
- 東京から徳山まで約4時間23分

お問い合わせ

周南市観光交流課  
TEL:0834-22-8372 FAX:0834-22-8357  
周南市観光ボランティアガイドの会事務局  
(一財)周南観光コンベンション協会内  
TEL:0834-33-8424 FAX:0834-33-8425



## 数多くの職務を歴任。



こだまげんたろう  
見玉源太郎  
政治家・陸軍軍人。  
写真:周南市美術館所蔵

徳山藩(山口県)に生まれる。献功隊の半隊司令として戊辰戦争に参加。のちに陸軍に入り、佐賀の乱・神風連の乱・西南戦争に従軍して頭角を現した。

1887年(明治20年)陸軍大学校長として陸軍軍制の近代化を進め、1891年ヨーロッパ視察、1892年1898年陸軍次官に任

じられ、陸軍省軍務局長となる。日清戦争では大本営参謀としても活躍した。1898年台湾総督就任。1900年第四次伊藤内閣の陸軍大臣、次の第一次桂内閣にも留任し、一時は内務大臣・文部大臣も兼任した。

### 私設図書館 見玉文庫を創設。

1903年文

相・内相を辞任して参謀本部次長に就任。参謀長大山巖の元で手



見玉文庫開設百周年記念碑

1904年に陸軍大将に任じられ日露戦争へ出征。最大の戦局と言われ、熾烈を極めた旅順攻略を指揮し、ロシアの太平洋艦隊を壊滅に追い込む功績を上げた。戦後は参謀総長、南満州鉄道株式会社設立委員長として激務の日々を送っていたが、1906年(明治39年)脳溢血により急逝。(享年54才)

腕を振った。この間、郷里徳山に私設図書館「見玉文庫」を創設するなど若者の教育にも力を注いだ。

### 日露戦争の英雄へ。

## 素顔の見玉源太郎

1876年(明治9年)神風連の乱鎮圧の最中、東京の陸軍省から熊本鎮台に「コダマジョウサハ、ブジカ」という電報が届いたという話は、当時24歳に過ぎない一少佐であった源太郎が陸軍内でいかに信頼されていたか、を示すエピソードである。

ドイツから招かれた陸軍大学の教官メッケルは、源太郎の人格と才能を讃え、日本を離れる時「私があなたに師であるという光栄をありがたく受け取りたい」と語った。メッケルは日露開戦後も「コダマがいる限り日本が勝利する」と信じて疑わなかったという。

乃木希典とは同郷であり、親友であった。旅順攻略という任務をなかなか果たせぬに在る乃木の苦しみを察し、自らが乃木に代わって指揮をとることを大山巖陸軍参謀総長に申し出て、旅順へ乗り込んで行ったのである。